



令和7年度 一級河川下川周辺整備実施設計業務委託

金抜設計書

業務番号 2025041300

業務名 令和7年度 一級河川下川周辺整備実施設計業務委託

履行場所 加東市社地内

兵庫県 加東市

総括情報表

単価適用年月日	0-07.04.01(0)		
旅費交通費率計上	今回 01 自動率計上する	前回	

工事費内訳書

頁0-0002/0023

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量委託費							
調査測量							
路線測量							
路線測量							
	横断測量 測点間隔→50m ; 平地(耕地)						
現地測量		0.25		km			施工 第0-0001号内訳表
現地測量							
	現地測量 縮尺：1/500 ; 平地(耕地)						
直接費計	旅費○、電子○	1		式			施工 第0-0002号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0023

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
電子成果品作成費						
			式			
旅費交通費 (率計上)						
			式			
純調査費						
諸経費						
			式			
測量作業価格						
消費税相当額						
			式			
合計						

工事費内訳書

頁0-0004/0023

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計業務委託費						
土木設計（概略・予備・詳細設計）						
公園設計 下川周辺整備						
街区公園設計 下川周辺整備						
実施設計 街区公園	1		式			施工 第0-0003号内訳表
打合せ 中間3回	1		式			施工 第0-0011号内訳表
鳥瞰図または透視図の作成 鳥瞰図A3：1枚又は、透視図A4：2枚	1		式			施工 第0-0015号内訳表
直接費計（概略、予備、詳細設計）						
電子成果品作成費（概略、予備、詳細設計）			式			

工事費内訳書

頁0-0005/0023

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
旅費交通費 (率計上)						
			式			
その他原価						
			式			
業務原価						
			式			
一般管理費等						
			式			
委託業務価格						
			式			
消費税相当額						
			式			
合計						
			式			
業務価格計						
			式			
消費税相当額						
			式			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0007/0023

横断測量

[規格1] 測点間隔->50m

[規格2]

[摘要]

1 km 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量技師		人			1 直接人件費 123
測量技師補		人			1 直接人件費 123
測量助手		人			1 直接人件費 123
機械経費		%			#01 23
材料費		%			#01 3
精度管理費		%			#02 3
<変化率による補正>		km			
単 位 当 り	1	km			
A 地域・地形		=5	平地(耕地)		
B 現地条件(交通量)		=1	現道外		
C 1 km当り換算曲線数(箇所)		=0	1 km当り換算曲線数(箇所)		
D 測点間隔		=4	測点間隔->50m		
E 測量幅(m)		=40	測量幅(m)		

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0008/0023

現地測量

[規格1]縮尺：1/500

[規格2]

[摘要]

1 式 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考	
測量主任技師		人			1 直接人件費	123
測量技師		人			1 直接人件費	123
測量技師補		人			1 直接人件費	123
測量助手		人			1 直接人件費	123
機械経費		%			#01	23
通信運搬費		%			#01	3
材料費		%			#01	3
精度管理費		%			#02	3
変化率による補正		km2				
作業量による補正		式				
単 位 当 り	1	式				
A 作業場所 B 作業項目 C 縮尺		=2 =5 =3	作業場所：その他（現道外） 全項目 縮尺：1/500			

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0010/0023

実施設計

[規格1]街区公園

[規格2]

[摘要]

1

式 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
与条件の確認及び調査 街区公園	1	式			施工 第0-0004号内訳表
実施設計の検討 街区公園	1	式			施工 第0-0005号内訳表
実施設計図の作成 街区公園	1	式			施工 第0-0006号内訳表
数量計算 街区公園	1	式			施工 第0-0007号内訳表
概算工事費の算出 街区公園	1	式			施工 第0-0008号内訳表
実施設計説明書の作成 街区公園	1	式			施工 第0-0009号内訳表
照査 街区公園	1	式			施工 第0-0010号内訳表
単 位 当 り	1	式			

基本歩掛

街区公園 実施設計

街区公園の標準作業量 (単位：人) (0.25 ha 当り)

項目	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
1. 与条件の確認及び調査	0.5	1.0	1.0	1.0	-
2. 実施設計の検討	1.0	1.5	2.0	2.0	-
3. 実施設計図の作成	-	1.0	3.0	6.5	11.5
4. 数量計算	-	-	1.5	2.5	4.5
5. 概算工事費の算出	-	-	1.5	1.5	2.5
6. 実施設計説明書の作成	0.5	1.0	1.5	-	-
7. 照査	1.5	1.5	-	-	-
計 (人)	3.5	6.0	10.5	13.5	18.5

設計歩掛

【補正係数】

補正率算出表より、補正係数は

0.98

実施設計 (対象面積 当り)

項目	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
1. 与条件の確認及び調査					-
2. 実施設計の検討					-
3. 実施設計図の作成	-				
4. 数量計算	-	-			
5. 概算工事費の算出	-	-			
6. 実施設計説明書の作成				-	-
7. 照査			-	-	-
計 (人)					

打合せ等 (1 業務 当り)

項目	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
業務着手時			-	-	-
中間時 (3回)	-			-	-
成果品納入時			-	-	-
計 (人)				-	-

鳥瞰図または透視図の作成 (1 業務 当り)

成果品	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
鳥瞰図：A3サイズ1枚 または 透視図：A4サイズ2枚	-	-			-

作業量の補正

履行場所 加東市社地内
 業務名 令和7年度 一級河川下川周辺整備実施設計業務委託

事業種別	地区名	対象面積 (ha)	備考
実施設計	下川	0.340	街区公園

(1) 面積による補正 (a)

$$\text{係数 } a = \left(\frac{\text{対象面積}}{\text{基準面積}} \right)^\alpha = 1.23$$

※ 基準面積は、0.25ha、 α は下表より

公園種別	基本計画	基本設計	実施設計
街区・近隣公園・地区公園	0.62	0.69	0.67
総合公園・運動公園	0.57	0.56	0.61

※1 対象面積が0.1ha未満の場合は、0.1haとみなして算出します。

※2 総合公園や運動公園において計画対象地をいくつかの区域に区分して設計する場合、対処面積が1.0ha未満の場合は、1.0haとみなして算出します。

(2) 地形による補正 (b)

補正係数 b は、以下の表を参照して定めます。

地形条件	係数 (b)
敷地の高低差が、0m以上～10m未満 または平地	1.00
敷地の高低差が、10m以上～50m未満 または丘陵地	1.10
敷地の高低差が、50m以上 または山地	1.20

(3) 作業難易度による補正 (c)

補正係数 c は、以下の表を参照して定めます。

適用例	係数 (c)
特別なテーマや配慮、オリジナルな発想を要する等、設計・デザインなどが複雑な場合 または、上位計画（基本計画や基本設計）が無く、設計要求が未確定な場合 あるいは、委員会等による指導を受ける場合	1.25
設計条件は上記に類似するものの、検討範囲や内容が、上記より緩やかな場合	1.15
標準的な設計の場合	1.0
類似例が多く、参考資料を活用できる場合	0.8以上～1.0未満
単純な芝生地や広場、樹林等が大部分を占める場合	0.6以上～0.8未満

(4) 改修設計を含む場合の補正 (d)

適用例	係数 (d)
単純な芝生地や広場、樹林等が大部分を占める公園の改修	1.0
工作物や植栽の見直し程度の公園の改修	1.1
電気設備や給排水設備等が存在し、改修部分だけで収まらず、公園全体で整合を図るべき検討項目が生じる公園の改修	1.25

総補正率

補正係数 = a × b × c × d 少数第2位 (少数第3位四捨五入) とする

(a)	(b)	(c)	(d)	総補正率
1.23	1.0	0.8	1.0	0.98

特記仕様書

1 適用範囲

本特記仕様書は、加東市が行う一級河川下川周辺整備実施設計業務委託（以下「本業務」という。）に適用する。なお、本特記仕様書に記載がない事項については「兵庫県土木設計業務委託必携」によるところとする。

2 概要

本業務は「社総合庁舎・加東バスターミナル周辺にぎわい創出構想」を踏まえて、一級河川下川周辺整備の測量業務及び実施設計を行うものである。

下記のとおり、現在、想定している整備イメージはあるものの、実際に整備する内容については河川管理者（加東土木事務所）等との協議により決定していく予定であり、整備の考え方や内容を示した設計図書等を用いて、協議を円滑に進め、来訪者の憩いの空間となるよう整備を進める。

【整備イメージ】

道路舗装（ストリートプリント、距離標）、展示・掲載用ポール（柵）、電気引込み、照明設備（桜ライトアップ）、オープンスペース化（人工芝）、花壇、手足洗い場、散水栓等

3 業務内容

本業務における業務内容については以下のとおりとする。

(1) 実施設計業務

安全性、機能性、施工性、デザイン性等を勘案して実施設計を行う。

① 与条件の確認及び調査

下記の事項について確認及び調査する。

- ・与条件の把握と整理
- ・適用設計条件や設計基準の確認
- ・関連機関との調整内容の確認
- ・現地細部確認調査（設計対象地中心）

[敷地境界・既存物の状況・供給処理設備など]

② 実施設計の検討

設計対象物について、以下の項目について検討・設定する。

- ・意匠性・芸術性・独自性に関する検討と設定
- ・安全性・機能性に関する検討と設定
- ・施工性・市場性に関する検討と設定

- ・維持管理性に関する検討と設定
- ・既存施設の保全・撤去・再利用に関する検討と設定
- ・目標工事費との調整

③ 実施設計図の作成

発注者と協議により決定した内容で、工事をするために必要な各図面、仕様書等をまとめる。また、関係機関との協議において必要な資料を作成する。

- ・実測平面図に基づいた実施設計平面図の作成
- ・割付平面図の作成
- ・造成平面図の作成
- ・施設平面図の作成
- ・植栽平面図の作成
- ・供給処理設備平面図の作成
- ・移設・撤去平面図の作成
- ・造成断面図の作成
- ・各種施設の構造図の作成

④ 数量計算

図面及び特記仕様書に基づき施工数量、及びそれに必要な材料・数量を計算する設計数量計算と、必要に応じ応力または容量等について計算を行い、設計の適正を確認する。

- ・図面及び工事仕様書に基づく施工数量や材料の計算
- ・実施設計の検討に伴う応力や容量の計算

⑤ 概算工事費の算出

公表された単価、見積徴収による単価に基づいた工事費を算出する。

⑥ 実施設計図書の作成

上記検討資料を取りまとめた報告書を作成する。

⑦ 照査

実施設計の内容に係る以下の項目について照査を行い、照査報告書を提出する。

- ・基礎情報や敷地情報の把握と設計計画の適正照査
- ・設計方法や設計手法の妥当性の照査
- ・成果品の内容の適正照査

⑧ 鳥瞰図または透視図の作成

対象地全体を俯瞰した鳥瞰図や主要施設の透視図（イメージ図）を作成する。

- ・鳥瞰図：A3 サイズ 1 枚
- ・透視図：A4 サイズ 2 枚

(2) 測量業務

下川周辺整備の実実施設計に必要となる測量を行う。追加の項目が必要となる場合に

については監督員と協議するものとする。

① 現地測量

- ・縮尺 1/500
- ・面積 3,400 m²

② 路線測量（横断測量）

- ・延長 250m
- ・幅 40m
- ・間隔 50m

4 打合せ協議

業務の円滑な推進を図るため、受注者は発注者と密接な連絡をとるとともに、打合せ協議は原則として、業務着手時、中間時打合せ3回、成果品納入時の計5回行うものとするが、発注者が必要とする場合についても追加で行う。進捗状況の報告や設計条件等の確認は電子メール等で随時行うものとする。また、受注者は打合せ記録簿を作成し、相互に確認するものとする。

関係機関との協議については、発注者から指示がない限り同席するものとする。協議終了後は速やかに協議簿を作成し、発注者の確認を受けること。

5 配置技術者

受注者は、業務の円滑な推進と業務成果の品質の確保を図る必要があるため、十分な技術力、経験を持った下記のいずれかの資格を有する管理技術者、照査技術者を配置するものとする。なお、管理技術者と照査技術者の兼務は不可とする。

- ・技術士（総合技術監理部門：建設—都市及び地方計画）
- ・技術士（建設部門：都市及び地方計画）
- ・RCCM（都市計画及び地方計画）

6 成果品

(1) 本業務で作成、納品する成果品は以下のとおりとする。

① 業務完了届

② 業務報告書

- ・業務報告書（製本） 2部
- ・その他関連資料 2部
- ・その他発注者が指示する物 1式
- ・上記の電子データ 1式

(2) 受注者は、業務完了前に発注者の成果品検査を受けなければならない。

(3) 成果品検査において、訂正を指示された箇所は直ちに訂正しなければならない。

- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者は直ちに当該業務の修正を行わなければならない。
- (5) 成果品検査に合格の後、成果品一式を納入し、発注者の検査をもって業務完了とする。
- (6) 成果品のすべては発注者に帰属するものとする。

7 その他

- (1) 本特記仕様書に記載なき事項について疑義のある場合は、監督員と協議すること。
- (2) 本業務において知り得た事項等については、本市監督員の許可なしに第三者に漏らしてはいけない。

令和7年度 一級河川下川周辺整備実施設計業務委託 位置図



1/2500

